

小学校 総合的な学習の時間の単元計画（例）【第4学年：70時間】



探究課題（例）：地域の自然や環境と、その保全に関わる人々の思いや願い

単元の目標：

- 川的环境やそこにすむ生き物の様子を調べたり、川環境を守る人々と協働してその保全に向けた取組を考え活動したりすることを通して、
- (1) 川環境を守る活動を続ける人や組織が存在し、互いに協力しながら活動していることを理解できるようにする。
 - (2) 自ら課題を設定し、その解決に向けて必要な情報を収集し、情報を比較したり分類したりしながらその方法を考え、取り組んできたことや考えたことをまとめ、表現できるようにする。
 - (3) 課題の解決に向けて試行錯誤したり、他者と協働したりしながら、川環境を守ろうとする探究活動に取り組むとともに、他者や自然と自分との関わりにおいて、自分の生活や行動について考え行動できるようにする。

単元名：○○川の美しさを取り戻そう！

単元の評価規準（内容のまとめりごとの評価規準をもとに、具体的な学習活動から目指すべき学習状況としての子どもの姿を想定して作成する）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①美しい川にするための活動に取り組む人々や組織が存在し、互いに協力しながら活動していることを理解している。 ②○○川に住む生き物の状況や生育環境を捉えるために、生き物の種類や環境に応じた方法で生息調査をしたり、環境調査をしたりしている。 ③○○川環境と自分たちの生活がつながっていることへの理解は、探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	①自分の関心や、○○川の上流・中流・下流の様子の違いから感じた関心をもとに課題を設定し、解決への見通しをもって調査活動に関する計画を立てている。 ②○○川の現状を捉えるために必要な情報を、多様な方法で収集したり、種類に応じて蓄積したりしている。 ③課題の解決に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関連付けたりしながら課題解決に向けて考えている。 ④○○川環境保全を訴えることについて、調査結果や考えたことを、グラフや地図、写真等を使って効果的に表し、相手や目的に応じて表現している。	①課題解決に向けた自己の取組を振り返ることを通して、自分の意思で探究活動に取り組もうとしている。 ②○○川環境保全に向けた探究活動を通して、自分と違う友だちの考えを生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。 ③○○川環境保全のために自分でできることに取り組むことを通して、自分と身近な環境との関わりを見直そうとしている。

指導と評価の計画（70時間）

4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
小単元1（15時間）				小単元2（20時間）			小単元3（35時間）						
			知 思 態							知 思 態			
・川の中流、下流、上流のそれぞれを探検し、それぞれの特徴をまとめる。 ・ホテルがある上流の様子と、油や泡、ゴミなどがある中・下流の様子を比較から生じたギャップから問題状況を捉え、「川の美しさを取り戻そう」という単元を通じた課題を設定する。				①	・川の美しさを取り戻すための活動をすすめるために、川の調査や、周辺住民へのインタビュー、川環境を守る取組を進めているホテルを増やす会」の人の話を聞く。 ・調査したことや聞いたこと等を整理して、川の美しさを取り戻すための具体的な活動を考える。 ・地域の方へ自分たちの取組や活動への参加を呼びかける。			② ①	・これまでの活動を振り返り、地域の方に川への関心を高めてもらうために、自分たちの活動の具体や今後の行動を考える。 ・家庭でできる川を汚さない方法を地域の方に知らせる、川掃除会の企画、「ホテルを増やす会」の活動に参加するなどの活動を実行するために必要な情報を収集し、実行に向けた準備を進める。 ・今後の自分たちと地域との関わりや環境との関わりについて、これまでの活動を振り返ってまとめる。				③ ④ ③

探究的な学習の過程において、体験活動や調査活動、インタビュー等の情報は、タブレット端末等のICT機器を活用して撮影・録画したり、内容に応じて蓄積したりする。